

**奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票**

調査日	2018 年	8 月	19 日	記入者	水間充
調査者名	小倉	久門	鈴木	仲谷	水間

調査対象先	旧八重川家住宅＝旧所在：旧山辺郡都祁村針(現奈良市針町)2786				
所在地	大和郡山市矢田町545、県立民俗博物館・大和民俗公園	電話番号	0743-53-3171		
代表者 調査対応者	県立民俗博物館総務課の森川龍太郎係長				
対象文化財	彫刻	県指定：	件	国宝：	件
	建造物	県指定：	1 件 1 棟	国宝：	件 棟

**地震対策**

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input checked="" type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容		
	今後の予定		
	要望		
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	特にない。 その他(大和民俗公園の古民家は文化的・建築的価値を伝えるために移築復原したもので、形状を変える耐震補強はあえて行っていない。)	
	要望	特にない。	

**防火対策**

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	主屋は木造平屋(一部2階建)で茅葺き。「簀の子天井」で防災上の工夫も。要所に火災感知機を取り付け、消火器を配置。屋外に避雷設備、火災報知機、放水銃も設置され、防火対策は完備。	
	今後の予定	県立民俗博物館・大和民俗公園として郡山市消防と2年ごとに総合防火訓練を実施しており、今後も継続していく。	
	要望	旧八重川家住宅は代々農業を営んだ家であると伝える。建築年代を示す資料を欠くが、形式手法上からみて19世紀前半頃の建築と思われる。昭和58年解体され、平成3年移築復原された。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	<input type="checkbox"/> その他( )	
	要望		

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先

旧八重川家住宅＝旧所在:旧山辺郡都祁村針(現奈良市針町)2786

獣害・白アリ等の対策

① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	公園エリアにアライグマが出没しており、棲み着いていた古民家もある。旧八重川家住宅でも外部の柱に引っかき傷が散見される。
③ 今後	今後の予定、要望	アライグマの駆除では大和郡山市とも連携していきたい。

県指定・旧八重川家住宅の主屋全面



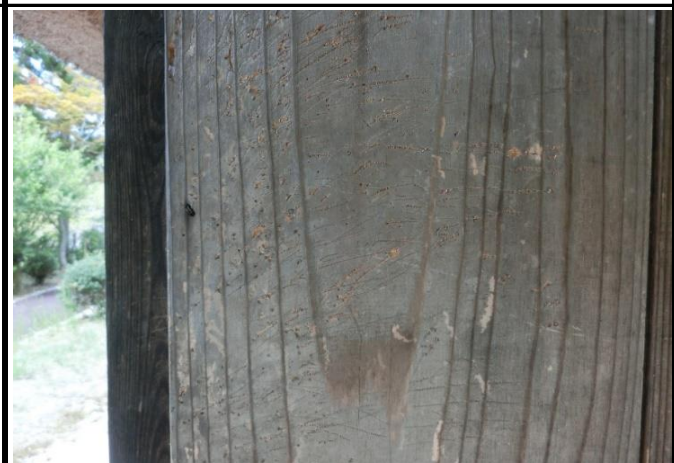
防火上の土を載せた「簀の子天井」



主屋に設置された避雷設備



アライグマによる柱の引っかき傷痕



各エリアごとに配置された消火ポンプ室



【調査票記入者(水間充)の感想】

大和郡山市、「大和民俗公園移築復原民家」の一つで、旧都祁村針に所在していた。19世紀前半頃の建築とされる。県内の標準的な農家建築を示し資料価値は高い。県の施設につき防火対策は十分である。